

プロジェクト報告書

団体: 特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

地域の共生教室【Todos Juntos トドス フントス】

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

近年在日外国人も日本人社会の中に溶け込み表面的には共生生活を平穩に営んでいるように見える。ところがその内容を見てみると様々な困難の中で生活している。その第一は学校での学習を家庭に帰ってから支援することは両親が外国人の場合は難しいということである。その穴を埋めるために地域の大人が子ども達の日本語と学習をサポートする。一方では子供たちの持っている文化の背景を日本人が学びそこで子供たちの保護者と交流を図り 地域での共生生活の一助となるよう日本人側の理解を深めるための支援を行う。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

毎週土曜日午後子どもたちへの学習支援教室を開催する。本来ならば家庭で保護者が当たり前のこととして行っているものを内容とする。本の読み聞かせ、教科書の読みを聞く、子どもたちの疑問や質問にこたえる、日本語で十分話を聞く等。指導者は地域で子どもやスペイン語やスペイン語圏の文化に興味のある人があたる。支援者も単にサポートするだけではなく子ども達の持っている文化の背景を学び、保護者との交流を行う。内容は南米の料理、文化の紹介日本のことも伝えることとする。地域の日本人やサポートしている人たちが交流できる場を提供する。交流会への参加により新たな日本人の支援者が増えることも期待している。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

毎週の学習会への出席はむらがありコンスタントではなかった。なるべく興味を持てるようにイベント参加のための踊りの練習会なども設け参加しやすいように工夫した。自分の悩みや学習の相談などに大人がのっていたので信頼関係ができていろいろな相談が寄せられた。南米の文化発表となると俄然保護者が張り切っていた。自分たちの子どもたちが自国の踊りなどを学ぶことを非常に期待、楽しみにしており交流会のイベントに参加した際には家族親戚などが沢山見学に来た。支援者たちも子どもたちや家族の異なった一面を知ることができたのがよかった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

南米出身の保護者たちが子どもの支援を行おうとしてもなかなか思い通りにはできないことで悲しい思いをしている。もし自国で自分の自由に操ることのできる言語で自分も体験したことのある学校生活や学習に関してであれば、十分に支援したりアドバイスしたりできるのにと感じる人が多いようであった。特に小学校低学年でそれが顕著にあらわれていた。また進学相談も同じような問題があったが指導者などに相談して解決していた。文化交流会になると保護者が張り切って料理の買い出しや手伝いをしてくれたので日頃支援をしているスタッフたちは南米の料理を楽しむことができた。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



町田市公民館での交流会参加 6月23日



町田市民フォーラムでの学習会



12月町田・大和合同クリスマス交流会



町田・大和合同クリスマス会